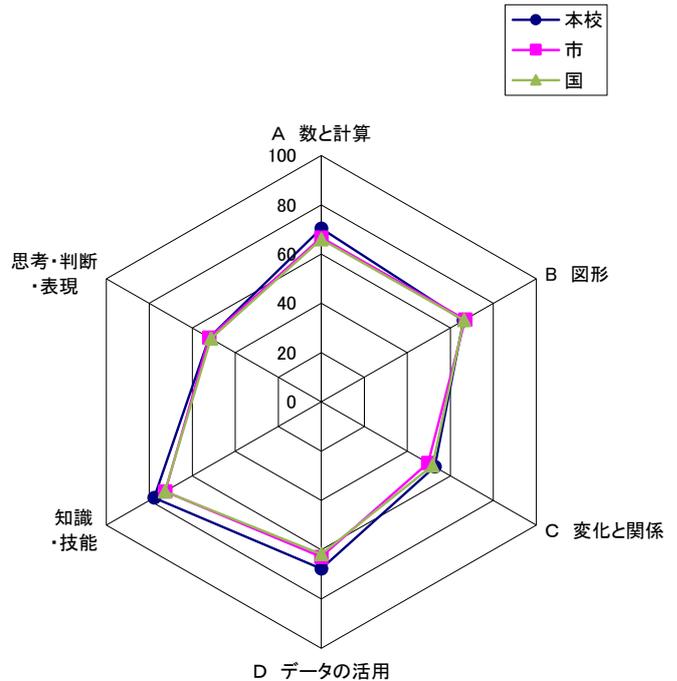


宇都宮市立東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	70.4	66.7	66.0
	B 図形	66.1	66.9	66.3
	C 測定			
	C 変化と関係	52.7	49.6	51.7
	D データの活用	67.7	62.9	61.8
観点	知識・技能	77.8	72.6	72.8
	思考・判断・表現	52.1	52.2	51.4
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	<p>平均正答率は70.4%であり、全国の平均を4.4ポイント上回っている。</p> <p>○除数が1/10になった時の商の大きさについて正しいものを選ぶ問題では、正答率が77.4%で全国平均を8.3ポイント上回っている。</p> <p>○はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ問題では、正答率が96.8%で全国平均を8.3ポイント上回っている。</p> <p>●問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ問題では、正答率が58.1%で全国平均を4.0ポイント下回っている。</p>	<p>・数と計算の問題では、小数のわり算の計算をはじめ、基礎的な計算は概ね理解しているため、これからもAIDリル等を利用して、各自が練習に取り組んでいけるよう支援していく。</p> <p>・文章問題を読み、加法か減法かを考え、正しい式を選ぶ問題でもほとんどの児童が正解を選ぶことができた。その反面、ひねった聞き方をされた問題で、正解を選べない児童が続出していたので、同一課題について様々な方向から問題をとらえたり数字を使ったりできるよう、教師が課題を投げかけるよう配慮していく。</p>
B 図形	<p>平均正答率は66.1%であり、全国の平均とほぼ同じである。</p> <p>○円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ問題では、正答率が74.2%で全国平均を2.9ポイント上回っている。</p> <p>●直径が分かっているボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く問題では、正答率が32.3ポイントで全国平均を4.2ポイント下回っている。</p>	<p>・立体の辺や面の数、体積や展開図など基礎的な内容はおおむね理解されている。</p> <p>・正答率が下がるのは、解答がすぐに出ない複合的な問題であった。授業で一斉に考える際、問題文を読んでから児童と一緒に答えの見当をつけたり解き方の見通しを立てたりするなどの活動を行ってから、課題の解決にあたるような学習を積み重ねていくようにする。</p>
C 変化と関係	<p>平均正答率は52.7%であり、全国の平均とほぼ同じである。</p> <p>○道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述する問題では、正答率が38.7%で全国平均を7.7ポイント上回っている。</p> <p>●道のりと時間の関係についての問題では、正答率は、64.5%で全国平均を5.5ポイント下回っている。</p>	<p>・同じ道のりでの速さを比較する問題は、おおむねできている。</p> <p>・速さが一定で、道のりが長くなった時の時間において、道のりを2倍、3倍…と変えた時のかかる時間について考えさせ、移動する道のりと移動にかかる時間は比例関係にあることを理解させるようにする。また、分速(時速)は、1分間(1時間)当たりに進む道のりを表しているなど、速さの意味や表し方について理解できるように指導していく。</p>
D データの活用	<p>平均正答率は67.7%であり、全国の平均を5.9ポイント上回っている。</p> <p>○円グラフの特徴を理解し、割合を読みとることができるかどうかみる問題については、正答率が100%であり、全国平均を19.2ポイント上回っている。</p> <p>●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかみる問題については、正答率が35.5%であり、全国平均を8.5ポイント下回っている。</p>	<p>・グラフから必要な情報を読み取ることは概ねできている。</p> <p>・身の回りの事象について興味・関心をもち、データを収集、表やグラフに整理し、その特徴をまとめたり、話し合ったりできるような場を設定していきたい。また、データの活用の指導にあたっては、統計データの特徴を捉えて、授業の中で考えを出し合う際に、一人一台端末を積極的に活用し、データを読み取る力や多面的に考える力を育む。□</p>

